

## 被災地に貴重な「水」を確保

大規模災害時には、ライフラインにも大きな被害が出る可能性が高い。村上製作所が開発した浄水ユニット搭載コンテナ「アクア・キューブ」は、大型の高精度中空糸膜を使って自動洗浄機能を持った本格的な浄水装置で、被災時にまず必要な水を効率よく確保できる。

学校のプールの水や井戸、河川などの淡水を水源に、時間あたり2000リットル以上の浄水能力で、600人以上の飲み水がつけられる。余った水は炊事や洗面、洗濯などライフラインが整うまでの生活用水としても利用できる。

孔径0.02μmのハイテク膜を採用し、安心の水質を実現したほか、ガソリンエンジン発電機を搭載し、浄水ユニットの運転に加え、避難施設に必要な電源としても利用可能。操作も簡単にできるように配慮されているのも強みだ。



▲アクア・キューブ  
AQ07-EGS1型